

取扱説明書

保管用



LEDペンダント (天井付専用)

ご使用になれる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書かれています。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品番	適合ランプ
PD-2608	E11 LEDランプ 7.0W×3灯 (三菱 MILIE LDR7L-M-E11/D/S-27専用)

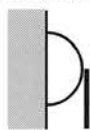
この取扱説明書のマークについて

- 警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- 注意** 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

警告

- LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意ください。
- 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気が多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。
- 次のような場所には取付けないでください。 ★器具の落下事故の原因となります。



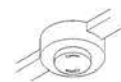
壁面



傾斜した場所



不安定な場所



ケースウェイにセットされている配線器具

- 補強材の無い場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）
- 石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
- 樹脂製ボックスカバーへの取り付け（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。）
- 凹凸のある面には取り付けないでください。
- サウナへの使用

★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

- 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

- 濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。

- 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙・発火やLED光源寿命低下の原因となります。

- エアコンの吹き出し口の近くに設置しないでください。
★器具がゆれて破損する原因となります。

注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外観に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による) 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

- この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火、LEDユニット寿命短縮の原因となります。

- AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となることがあります。

- ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

- 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

- 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

- 点灯中や消灯直後の光源ユニット、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。

- 同品名商品のLED光源でも色・明るさに多少のバラつきがある場合があります。予めご了承下さい。

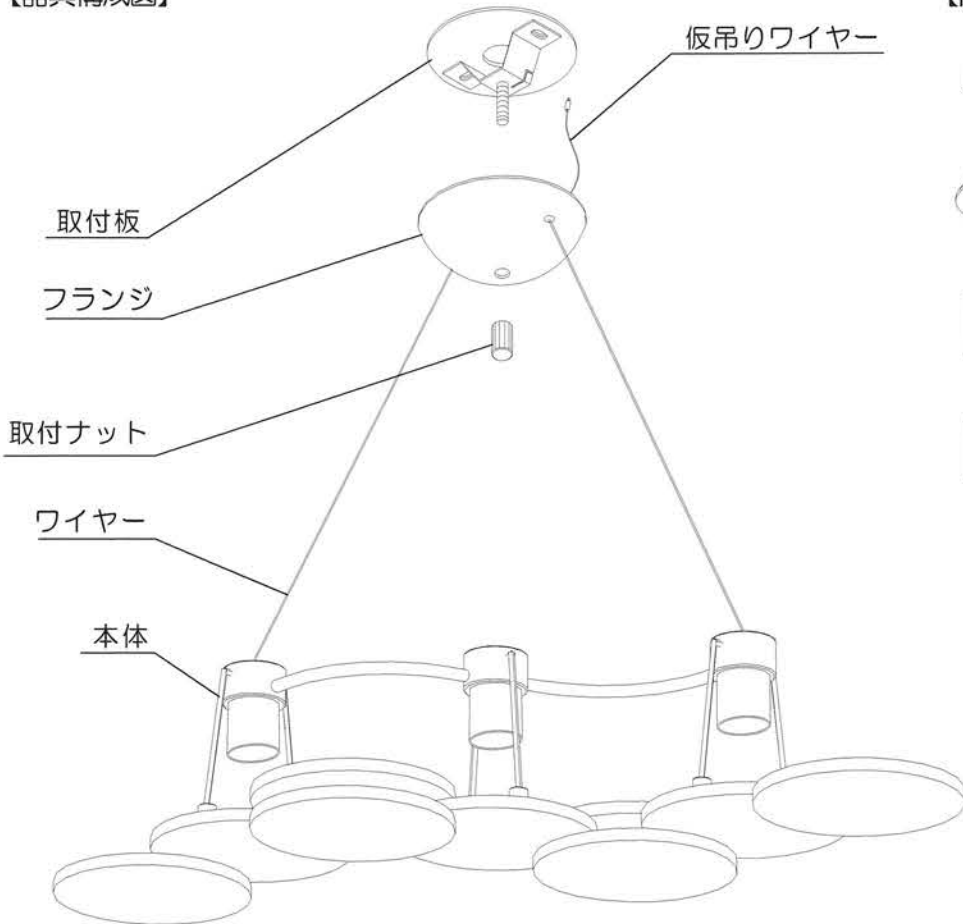
- 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承下さい。

- 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承下さい。

各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】

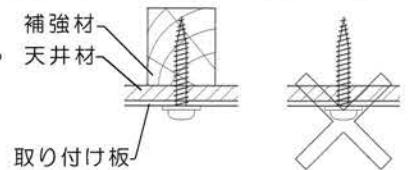


【付属品】

-  座付き木ネジ・・・2本
(取付板用)
-  E11LEDランプ7.0W
(三菱 MILIE LDR7L-M-E11/D/
S-27専用)・・・3個
-  取扱説明書(本書)・・・1枚
-  保証と
アフターサービス
(別紙)・・・・・・・・・・1枚

取り付け場所の確認

- ⚠ 警告** 器具を木ネジで取り付ける場合、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けると、器具の落下事故の原因となります。
- ⚠ 注意** 建築の構造によっては、付属の木ネジで取り付けられないことがあります。
その様な場合には、器具取付場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。
★取り付け角度を誤ると器具の落下による「事故」、その他の破損や「けが」の原因となります。

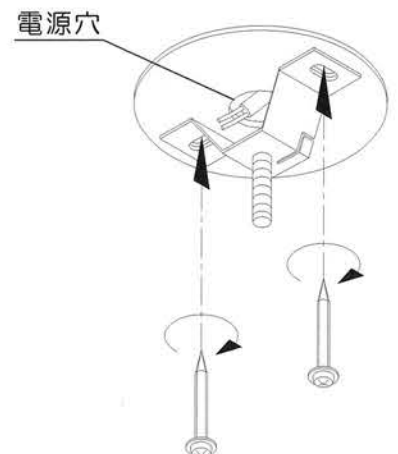


取り付け方

⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

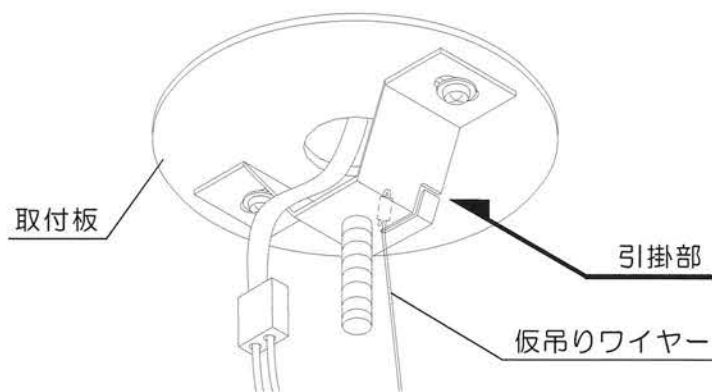
- ⚠ 警告** 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。
- ⚠** 端子に差し込むケーブルは、必ずVVFΦ1.6AまたはΦ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となることがあります。

1. 電源線の被覆を剥きます。
●電源線の被覆を速結端子のストリップゲージ(12mm)にあわせて剥きます。
2. 取付板を取り付けます。
 1. 電源線を電源穴より取付板内に引き込みます。
 2. 付属の座付き木ネジ(2本)にて取付板を天井に固定します。

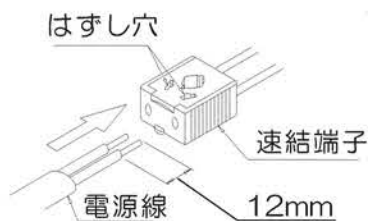


3. 電源線を接続します。

1. 仮吊りワイヤーを取付板の引掛部に引掛めます。

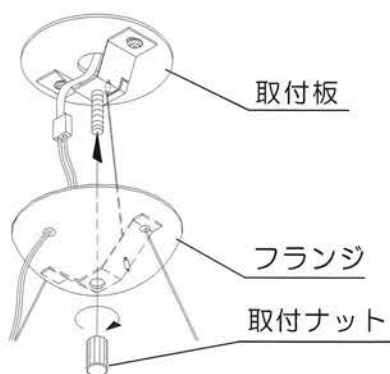


2. 電源線を速結端子に差し込みます。



4. フランジを取り付けます。

●器具を好みの方向に合わせてから、取り付け板のネジを、フランジ中央の穴に合わせて入れ、取付ナットで固定します。



5. 吊り下げ高さの調節

ワイヤーストッパーを調節してお好みの高さに設定します。
最大高=1.2m (出荷時のもの) ~ 最小高=0.5mの範囲内で調節できます。

—ワイヤーストッパーの調節の仕方—

短くする場合



●ワイヤーストッパーの中にワイヤー線をまっすぐに押し込みます。
※ワイヤーストッパーの先端部を片手で上に押しながらワイヤー部を押し込むと楽におこなえます。

長くする場合



①ワイヤーストッパーの先端部を片手で上に押しながらワイヤー線をまっすぐ下へ引き出します。
②長さが決まったらストッパー先端部を放します。
(ワイヤー線はそこで固定されます。)

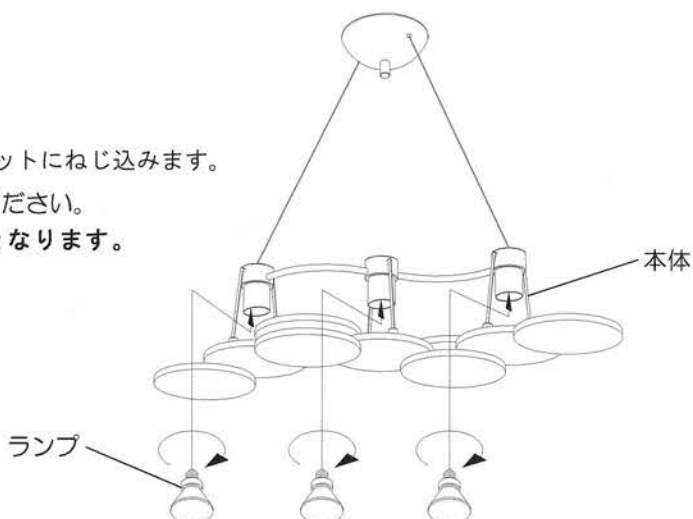
※調節したワイヤー線の長さに合わせ電源コードの長さを調節します。

●たるんだ分の電源コードはフランジ内部に押し込みます。

6. ランプをセットします。

●本体横の開口部から手を差し入れてランプをソケットにねじ込みます。

⚠ 注意 ●ランプは乱暴に取り扱わないでください。
★ランプ割れなどの事故の原因となります。



スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて

△注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

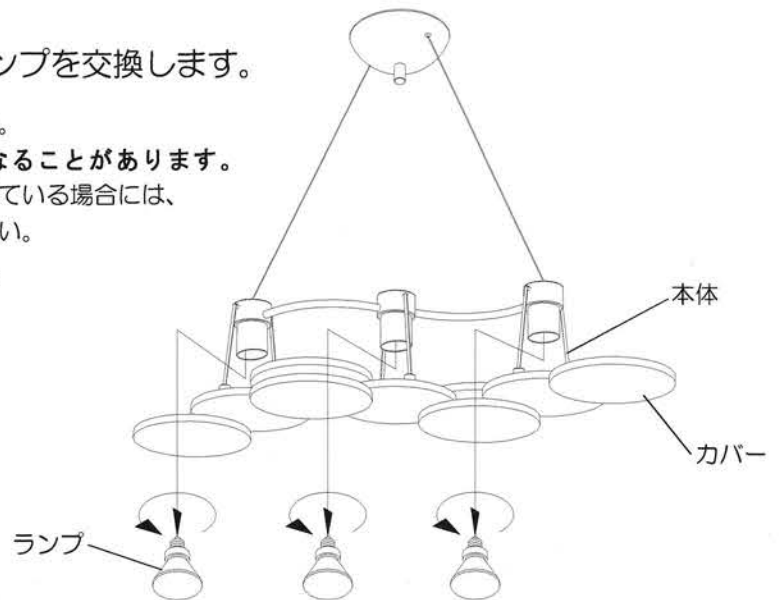
△注意

- 電球の交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。
- スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。
- 電球は乱暴に扱わないでください。★電球が割れてけがをする恐れがあります。
- 適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると、異常過熱による火災の原因になります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

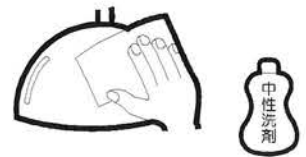
1. スwitchを切ります。
2. 本体横の開口部分から手を差し入れてランプを交換します。

- △注意**
- カバーは乱暴に取り扱わないでください。
★カバー割れによる「けが」の原因となることがあります。
 - カバーにヒビが入っていたり一部が欠けている場合には、ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの落下事故の原因となります。



◆お手入れのしかた

1. スwitchを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。